

活動報告

団体名	ソナエトコ
活動名	地域住民が被災住民を見守ることのできるコミュニティ形成のための活動
活動期間	2017年10月～2018年9月
活動の成果	<p>活動中は、参加していただいたみなさんに楽しんでいただけました。笑顔がひろがることで、人と人のつながりが、ゆるやかに結ばれていきました。活動を重ねるうちに、同窓会のようなところもあり、「お久しぶりね」「元気しとった」「どぎゃんね」など、お互いを思いやる声掛けが聞こえていました。仮設住宅に入居されている住民のみなさん同士はもちろん、地域の方との間にも、このような声掛けがあったように思います。そして我々、支援活動をしているメンバーとの間にも。</p> <p>子どもたちは、自分ができることを、誰かのためにするという意識が芽生えてきたように思います。ゴーヤの苗植えの際などは、学校で植物を育てているからと率先して他の方々に指導していたり、水のいっぱい入ったジョウロを使うときには、自ら動いてくれました。できることを認識し、行動に移し、お互いに助け合う。こんな循環が、生まれてくれたように思います。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>みなさんのお世話になり、ありがとうございました。熊本地震後、まさかこういった活動を自分たちの団体が担うなんて夢にも思っていませんでした。しかし、時間の経過とともに、我々の団体の役割と、できることが分かり、支援を必要としている方々を中心とした活動をすることができました。この活動を続けてこられたのも、全国のみなさんからのご支援があったからです。みなさんの思いを形として、熊本地震で被災した方々に届けられていたら幸いです。</p> <p>みなさんのご支援を土台として続けてきたこれまでの活動を、今度は、みなさんの思いとともに我々の団体が受け継ぎ、次の支援のステージへとつなげていきたいと思えます。</p> <p>長く続く支援活動のスタートを応援してくださったことに、本当に感謝致します。ありがとうございました。そしてこれからも、心を向けていただければありがたいです。</p>

(活動のようす)



